

EDIサービス

GXS-E006-00

Expedite Base / MVS 4.6  
プログラム資料説明書

GXS株式会社



平成18年 5月

お客様各位

G X S 株式会社

Expedite Base / MVS 4.6 プログラム資料説明書

(プログラム番号：5695 - EDI)

バージョン・リリース : バージョン4 , リリース6.0

標記プログラムをご使用いただきありがとうございます。

当プログラムはEDIサービス(蓄積情報交換サービス)とともにご利用いただける通信ソフトウェアです。

プログラムの性格上、各種申請および登録が必要となりますので、プログラム・ディレクトリーと合わせて当資料をご参照のうえご導入されますようお願い申し上げます。

なお、ご不明な点がございましたら弊社営業所営業担当員に、その旨お申し付けください。

この資料には導入上の注意点が記載されておりますので、ご導入の前に必ずお読みください。

導入上の要件 .....	1
1.前提ハードウェア .....	1
2.前提ソフトウェア .....	1
3.導入時のソフトウェア要件.....	1
導入手順の概略と注意点.....	2
1. 導入手順の概略.....	2
2.登録申請.....	4
3.ACF / VTAM定義.....	5
4.TCP / IP接続するための情報.....	7
5.接続テスト .....	8
PTF情報.....	10
プログラム関連資料.....	11

## 導入上の要件

このプログラムの使用にあたっては、NMSとのホスト接続が完了していることが前提となります。

### 1. 前提ハードウェア

- w IBM S/390またはIBM eServer zSeries (下記のソフトウェアが稼働する環境)
- w TCP/IPあるいはSNA接続するためのハードウェア

DASD容量はプログラム・ディレクトリーを参照ください。

### 2. 前提ソフトウェア

- w z/OSバージョン 1.4 (5647-A01)
- APAR PQ85252を適用してください。

SNA接続の場合

- w 上記OSに含まれるCommunications Server (SNA)
- w ACF/NCP

TCP/IP接続の場合

- w 上記OSに含まれるCommunications Server (TCP/IP)

### 3. 導入時のソフトウェア要件

- w SMP/E

## 導入手順の概略と注意点

このプログラムの使用にあたっては、情報交換蓄積サービスとのホスト接続が完了していることが前提となります。

### 1. 導入手順の概略

登録申請 解説ページ

ご契約の際に次の登録申請を記入・提出していただきます。

『NMS SNAホスト接続登録申請書』(SNA接続)	4
『NMS<IE/EX>LU6ホスト登録申請書』(SNA接続)	4
『NMS<IE/EX>ユーザー登録申請書』(SNA, TCP/IP接続共通)	4
『セキュアIP WAN CSR登録申請書(フォーム3)』(TCP/IP接続) ユニバーサルVPNサービス等での接続の場合は、 NMS契約先担当者にお問い合わせください。	4

配布テープの導入作業(SMP/Eによる導入)

プログラム・ディレクトリーの以下の章を参照し、導入作業を進めてください。

Installation Instructions

顧客ホスト側VTAM定義、カスタマイズ(SNA接続の場合)

プログラム・ディレクトリーの以下の章を参照し、導入後の作業を進めてください。

APPLID Assignment	5
Customizing ACF/VTAM for Expedite Base/MVS	5
TCP/IP接続するための情報	7

接続テスト

8

テストに関する JCL、コマンドなどは、次のマニュアルをご参照ください。

- Expedite Base/MVS Programming Guide Version 4.6 GC34-2204
- EDIサービス <IE/EX> <国際IE>  
Expedite Baseシリーズ プログラミング・コマンド解説書 GXS-E001-00

## 2.登録申請

『NMS < I E / E X > ユーザー登録申請書』に、登録するユーザーIDを記入、  
下の空欄に ' B A S E / M V S ' と記入し、提出して下さい。

### SNA接続の場合

- (1) ホスト登録がまだ完了していない場合は、『NMS SNAホスト  
接続登録申請書』に所定の事項を記入の上、提出します。  
( N M S 導入ガイド - ホスト接続編 参照 )
- (2) 『NMS < I E / E X > L U 6 ホスト登録申請書』に所定の事項を  
記入の上、提出します。(以下参照)

#### 所属システム

- ・ ' ユーザーHOST ' にチェック(レ)

#### ソフトウェア情報

- ・ ' L U - 6 . 2 ' にチェック(レ)

- ・ ' (            ) ' 欄に ' B A S E / M V S ' と記入し、チェック(レ)

#### プロダクト情報 < 顧客ホスト側 >

プロダクト名 / プロダクトLU欄に、お客様のExpedite Base/MVS  
のプロダクトLU名を記入。

\*登録後、顧客ホスト登録情報、I E / E Xホスト登録情報が記入され、  
申請元へ戻されます。

### T C P / I P 接続の場合

- (1) セキュアIP WAN接続の例  
『セキュアIP WAN CSR 登録申請書(フォーム3)』に以下の内容を  
記入の上、提出します。(以下参照)

#### P r e s e t S t a t i c I P ルート欄の宛先名 Expedite

- ・ ' 新規 ' にチェック(レ)

コメント欄に ' B A S E / M V S ' と記入

ユニバーサルVPNサービス等での接続の場合は、詳細についてNMS契約先担当者にお問い合わせください。

### 3. ACF / VTAM定義

プログラム・ディレクトリーと一部内容が異なりますのでご注意ください。

注意：波線が付いている太字がプログラム・ディレクトリーと異なる個所です。

#### (1) Application program major node

w 下記のサンプルを参照し、定義して下さい。

```
name      VBUILD  TYPE=APPL
applid    APPL    ACBNAME=applid,
           APPC=YES,
           DSESLIM=2,
           DMINWNL=1,
           DMINWNR=1,
           AUTOSSES=2,
           DDRAINL=ALLOW,
           DRESPL=ALLOW,
           PARSESS=YES,
           SECACPT=CONV,
           VPACING=n
           MODETAB=MODEISC
```

\*つぎの項目については、下記の値をご指定下さい。

```
name      : 任意の名前
applid    : Expedite Base/MVSのプロダクトLU名
n         : ペーシングの値(弊社の推奨値は'7')
```

#### (2) MODE table

w MODE tableは下記のサンプルを参照し、定義して下さい。

```
MODEISC   MODETAB
IINAPPC   MODEENT LOGMODE=IINAPPC,          X
           SSNDPAC=X'07',SRCVPAC=X'07', X
           PSNDPAC=X'07'
SNASVCMG  MODEENT LOGMODE=SNASVCMG
           MODEEND
           END
```

継続行

(3) CDRSC

w CDRSCは下記のサンプルを参照し、定義して下さい。

{ Single gate way接続の場合

```
VBUILD TYPE=CDRSC
QZQB62I1 CDRSC CDRM=adjvtam1
```

\* adjvtam1に指定するCDRM名は個々のお客様によって異なります。  
お客様の定義するCDRM名は、弊社担当員にお問い合わせ下さい。

{ SNI接続(Back to Back)の場合

```
VBUILD TYPE=CDRSC
NETWORK NETID=NETNMS1
QZQB62I1 CDRSC
```

注：QZQB62I1は国内IE/EXのrelay62のieapplid名です。

(4) ADJSSCP TABLE

w ADJSSCP tableは下記のサンプルを参照し、定義して下さい。

{ Single gate way接続の場合

```
VBUILD TYPE=ADJSSCP
CDMQA ADJCDRM
CDMQE ADJCDRM
```

{ SNI接続(Back to Back)の場合

```
VBUILD TYPE=ADJSSCP
NETWORK NETID=NETNMS1
CDMQA ADJCDRM
CDMQE ADJCDRM
```

#### 4. TCP / IP 接続するための情報

TCP / IP 接続する場合は、Expedite Base / MVS が、CFE for TCP / IP と接続することになります。

登録申請書を提出後、お客様のCSRからCFE for TCP / IP にルーティングできるように登録されます。

CFE for TCP / IP の情報は以下の通りです。

w IP アドレス

166.100.65.33

w ポート番号

国内 IE / EX : 3003

国際 IE : 3002

これらの情報はプロファイル・コマンドのTCP COMMで指定しなければなりません。  
指定方法は接続テストを参照してください。

## 5. 接続テスト

以下にサンプル JCL を示します。

```
//jobname JOB (insert your installation-specific job statement)
//JOBLIB DD DSN=expedite.mvs.loadlib,DISP=SHR
//expstep EXEC PGM=IEBASE,REGION=2048K
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//*
//*command files
//INMSG DD DSN=user1.message.command,DISP=SHR
//INPRO DD DSN=user1.profile.command,DISP=SHR
//*
//*response files
//OUTMSG DD DSN=user1.message.response,DISP=OLD
//OUTPRO DD DSN=user1.profile.response,DISP=OLD
//*
//*data recovery files
//OUTWORK DD DSN=user1.output.work,DISP=OLD
//SESSION DD DSN=user1.session.file,DISP=OLD
//RCVWORK DD DSN=user1.receive.workfile,DISP=OLD
//EDIWORK DD DSN=user1.ediwork.work,DISP=OLD
//*
//*edi control files
//QUALTBL DD DSN=user1.ediqual.table,DISP=SHR
//TTABLExx DD DSN=user1.ttablexx.table,DISP=SHR
//*
//*trace files
//BASETRC DD DSN=user1.iebase.trace,DISP=OLD
//LINKTRC DD DSN=user1.line.trace,DISP=OLD
//*
//*error text files
//ERRORMSG DD DSN=expedite.error.messages,DISP=SHR
//ERRORTXT DD DSN=expedite.error.text,DISP=SHR
//TRACEMSG DD DSN=expedite.error.tracemsg,DISP=SHR
```

メッセージ・コマンドを指定します  
プロファイル・コマンドを指定します

注意 : INMSG、INPRO内のコマンド行に、73 - 80カラムのナンバリングがありますと、  
コマンドを認識できずエラーになりますので、73 - 80カラムのナンバリングを消し  
て、NONUMでSAVEしてください。

### (1) SNA 接続の場合

プロファイル・コマンドについては以下の例を参照の上ご利用ください。  
SNACOMMコマンドのIELUNAMEとIELUMODEについては、次の  
指定が必要です。

```
IDENTIFY IEACCOUNT(1xxx) IEUSERID(1xxxyyyy) IEPASSWORD(password) TIMEZONE(JST);
SNACOMM IELUNAME(QZQB6211) IELUMODE(IINAPPC) USERLUNAME(userluname);
```

userluname: ユーザ・ホスト上のExpedite Base/MVSのLU名  
VTAM定義のapplidと同じものを入れてください。  
IELUNAME : 国内IE/EX接続の場合は QZQB6211 と指定してください。  
国際IE接続の場合は QZQB6212 と指定してください。

(2) T C P / I P 接続の場合

プロファイル・コマンドについては以下の例を参照の上ご利用ください。

T R A N S M I T の C O M M T Y P E に " T " を指定してください。

また、T C P C O M M コマンドの I E T C P H O S T n と I E T C P P O R T n については、次の指定が必要です。

```
IDENTIFY IEACCOUNT(lxxx) IEUSERID(lxxxyyyy) IEPASSWORD(password) TIMEZONE(JST);
```

```
TRANSMIT COMMTYPE(T);
```

```
TCPCOMM IETCPHOST1(166.100.65.33)
```

```
    IETCPPORT1(nnnn);
```

nnnn : 国内IE/EXIは 3003 と指定してください。

国際IE接続の場合は 3002 と指定してください。

## PTF 情報

以下のURLを参照ください。

<https://www.gxsoic.com/public/EDI/us/support/PTF/BaseMVSptfs.html>

## プログラム関連資料

### [ 基本資料 ]

(英文原典)

- ・ Program Directory for Expedite Base/MVS GI10-5284

### [ 参照資料 ]

(和文資料)

- ・ EDIサービス <IE/EX> <国際IE> Expedite Baseシリーズ プログラミング・コマンド解説書 GXS-E001-00
- ・ EDIサービス <IE/EX> IE/EX プロトコルご利用の手引き GXS-I002-00
- ・ EDIサービス<IE/EX> V2.3 サービス管理責任者 ご利用の手引き GXS-I003-00
- ・ Expedite Base/MVS V4.6プログラム資料説明書(本書) GXS-E006-00

上記和文資料は以下のURLからダウンロードできます。

[http://www.gxs.com/jp/jp\\_support\\_IE\\_manual.sjis.html](http://www.gxs.com/jp/jp_support_IE_manual.sjis.html)

(英文原典)

- ・ Expedite Base/MVS Programming Guide GC34-2204
- ・ Expedite Base Programming Commands Quick Reference GC34-2328

上記英文原典は以下のURLからダウンロードできます。

[https://www.gxsolc.com/public/EDI/us/support/Library/ExpBaseMVS\\_Library.html](https://www.gxsolc.com/public/EDI/us/support/Library/ExpBaseMVS_Library.html)

